



新潟県立加茂農林高等学校

- 所在地 〒959-1325 加茂市神明町2-15-5
〔最寄りの交通機関〕
JR信越線加茂駅下車、徒歩15分
- 電話 0256-52-3115
- FAX 0256-53-2672
- URL <http://www.kamonorin-h.nein.ed.jp/>
- 校長名 竹内 公英
- 課程 全日制
- 創立 明治36年(1903年)5月11日
- 生徒数 675名 (平成27年5月1日現在)



学科	1年		小学科	コース	2年		3年	
	男	女			男	女	男	女
農業科	140	102	生産技術科	作物	16	8	15	8
				野菜	13	12	13	13
				果樹	9	17	15	9
				草花	8	16	5	23
				動物	10	15	12	11
			生物工学科	バイテク	10	10	12	12
			食品技術科	食品製造	5	15	4	15
				食品流通	5	12	6	14
			環境緑地科	緑地工学	14	5	7	0
				環境土木	17	2	18	2
計	140	102			107	112	107	107

●入学者選抜方法 (平成28年度入学者選抜)

学科	募集定員	特色化選抜	一般選抜	
農業	200	なし	調査書：学力検査 4 : 6 (1,000点)	学校独自検査・配点 (個人面接・200点)

I 学校目標

○「食料と環境」を支えるニューリーダーを育む

新潟県の農業指導者を育てる目的で創設された加茂農林高等学校は、平成14年に創立百年を迎えました。本校の教育は「人間づくり」を根幹としています。それは、農業教育を通じて、豊かな知識と情操、こうありたいと思う意志の「知・情・意」を兼ね備えた「人に信頼され世の中から必要とされる人間づくり」を行うことです。今、「食料と環境」を支える農の分野は、人間がよりよく生活するための条件を整える崇高な役割を担っています。食料・環境問題の解決が国際的なテーマとなっている現在、加茂農林高等学校では、「食料と環境」の将来に責任を持つニューリーダーの育成を目指しています。

教育目標

- 1 きめ細やかな学習指導を行い、
生徒個々の能力を伸長するとともに、豊かな創造力を育成する。
- 2 道徳的心情を培い、
良識を育成し、厳しい躰教育を通して、正しい生活習慣を身に付けさせる。
- 3 スポーツを奨励し、
健全な心身を育成するとともに、質実剛健な勤労の精神を培う。

○ 校 訓

- 「愛敬協調」 愛しうやまい相互に協力し合うこと。
「公正廉直」 明白で正しく清廉で潔白なこと。
「勤儉質朴」 勤勉かつ儉約、かざり気なく律儀であること。
「責任実行」 責任を果たし、すすんで物事を行うこと。
「師長尊重」 目上の人を敬うこと。



Ⅱ 目指す学校像のコンセプト

- 加茂農林高校は、「人に信頼され、世の中から必要とされる人間」を育成する学校を目指します。
[コンセプト]

植物には水を、動物には餌を、人には思いやりを！

— 植物の声、動物の声が聞こえる、規範意識を育てる躰教育の実践校 —

- 加茂農林高校は、平成27年度からの3年間、新潟県央工業高校・三条商業高校と共同で「オンリーワンスクール新潟未来プロジェクト事業」に取り組み、県央地域と連携し、ふるさとへの愛着と誇りを胸に、粘り強く挑戦し未来を切り拓く、たくましい人づくりを目指します。

[プロジェクト活動テーマ]

～レトロフューチャーからリアルフューチャーへ～

県央地域に最新未来都市を創造する地域活性化プロジェクト

[取組計画]

・農業・防災・観光をキーワードに、加茂市の歴史・風土及び農業・自然・環境の特色を再発見させ、郷土愛を高めるような自然体験教室や教育ファームを新潟県央工業高校・三条商業高校と共同企画します。そして、県内外の小・中・高校生を中心に集客し、この地域の魅力をPRするとともに、生徒の課題解決能力とコミュニケーション能力の向上を図ります。

・地域の外部機関及び新潟県央工業高校・三条商業高校と連携し、地域の農産物、未利用資源、廃棄物等を利用した商品開発に取り組み、販売活動等を通じて、地元の農業と環境の魅力を伝えます。

Ⅲ 学校生活

1 各学科の特色、教育課程

入学時は農業科として一括募集をし、1学年は共通科目を学習します。

2学年から興味関心、進路希望等に応じて、「環境緑地科」2コース、「食品技術科」2コース、「生物工学科」1コース、「生産技術科」5コースの計10コースに分かれて学習します。さらに、大学等への進学を希望する生徒は、普通科目の選択により進学に対応した学習が可能です。

2学年から学ぶ学科の特色と目標及び各コースの教育課程は次のとおりです。

環境緑地科

森林や農地の保全、森林資源の利用、都市環境・公共施設の緑化・デザインなどについての学習を通して、地域の環境緑化に関わる業務に従事する者として必要な能力や態度を身に付けます。

○緑地工学コース：環境を守る上で必要不可欠な森林や樹木の保育及び利用方法を中心に学習し、森林環境に関する基礎的な知識や技術を学びます。

○環境土木コース：街作りや道路、河川、農地などを中心に学習し、自然と調和のとれたよりよい社会環境の創造を進めるために必要な知識や技術を学びます。

食品技術科

食品技術者及び食品産業従事者として必要な食品の製造や流通、情報処理などの学習を通して、農業や食品関連の地域産業の発展に貢献できる能力や態度を身に付けます。

○食品製造コース：各種食品の加工や製造を中心に学習し、食品産業に関する基礎的な知識や技術を学びます。

○食品流通コース：情報処理や食品に関する経営及び流通を中心に学習し、食品産業に関する基礎的な知識や技術を学びます。

生物工学科

農業生産に活用できるバイオテクノロジー技術などの学習を通して、より高度な生命科学技術を活用できる能力や態度を身に付けます。県内でただひとつの学科です。

○バイオテクコース：バイオテクノロジーを中心に学習し、農業生産に活用できる植物バイオテクノロジー技術や微生物技術の基礎的な知識や技術を学びます。

生産技術科

農業の社会的・経済的意義と役割を理解し、栽培・飼育などの農業生産に関する学習や生産物の加工と利用に関する学習、農業経営に関する学習などを通して、農業の各分野で広く社会に貢献できる能力や態度を身に付けます。

○作物コース：我が国の農業の基幹作物である各種のイネを中心に学習し、栽培方法や農業経営についての基礎的な知識や技術を学びます。

○野菜コース：地域農業の代表的な作物のひとつである各種の野菜を中心に学習し、栽培方法や農業経営についての基礎的な知識や技術を学びます。

○草花コース：各種の草花を中心に学習し、草花の特性を理解した栽培技術や、生産された草花の利用方法についての基礎的な知識や技術を学びます。

○果樹コース：地域農業を支える作物のひとつである各種の果樹を中心に学習し、栽培方法や農業経営についての基礎的な知識や技術を学びます。

○動物コース：農業動物（牛、豚、鶏などの家畜）を中心に学習し、飼育方法や農業経営についての基礎的な知識や技術を学びます。

2 進路指導

漫然と高校生活3年間を過ごすことなく、入学と同時に就職すること、進学することの意味を考え、先輩の大学生や社会人から様々な貴重な情報を、学年別に適切な時期に提供するようにしています。生徒の第一希望を重視しながら、全人格的な進路指導を追求し、担任のみならず学年、進路指導部、全職員一丸となって、親身になって卒業後に感謝をされるような指導を行っています。

就職状況は県内外を問わず本校の躰教育に信頼をいただき、一時的なその場だけのものでない、3年間を通じての指導を行い、100%の就職率です。

進学状況は各学科とも共通して、数学(4単位)・英語(3単位)を選択するコースが設けられており、大学等への進学に力を入れ、過去3年間で国公立大学5名の合格をはじめとして県内外への大学に多数進学しています。また、本校では大学進学者の約半数が農業関連の学部・学科に進学していますが、その他の学部・学科にも多く進学しています。なお、進学希望者に対しては小論文・面接指導はもちろん、普通教科の補習指導も行っています。

3 農業クラブ活動

本校では、全校生徒が加入する全国組織の「学校農業クラブ」があります。毎年、各種発表大会や各種技術競技大会で、県大会を経て全国大会に多数出場しています。

平成26年度の日本学校農業クラブ全国大会(沖縄大会)では、農業鑑定競技と平板測量競技に出場し、農業鑑定競技で1名が最優秀賞、9名が優秀賞入賞を果たしました。



4 クラブ活動

本校では、次の15の運動部、11の文化部、2の同好会があります。

<運動部>野球、男子バレー、女子バレー、男子バスケット、女子バスケット、卓球、柔道

陸上競技スキー、空手道、山岳、サッカー、バドミントン、剣道、テニス

<文化部>生物、写真、美術、書道、JRC、囲碁・将棋、茶道、華道、陶芸、演劇吹奏楽

<同好会>社会研究、マンガ研究



【平成26年度の主な成績】

- 柔道部 …県総体/女子78kg超級 3位
- 空手道部 …全日本空手道選手権大会 女子団体組手出場
新潟県空手道選手権大会 成年女子組手 2位
全国高校選手権新潟大会 女子52kg級 3位
- 吹奏楽部 …新潟県吹奏楽コンクール 銅賞
- 写真部 …合同撮影会写真コンテスト(十日町きものまつり) 特選
高文連 総合文化祭 写真専門部展 奨励賞

5 インターンシップ

インターンシップとは、企業や農家などの実際の産業現場において、何日間か一緒に作業を体験し、働くことの意義や楽しさ、大変さを学び、自己の将来の職業選択に生かそうというものです。本校では、農家における研修も、企業における研修も、希望者を募り実施します。いずれも夏休み中を利用し、3日間程度の研修となります。(農家研修については、農家に宿泊し早朝や夜の作業も体験できます。)

◎ 私は、三条市の農家でインターンシップを体験しました。この3日間は私にとって充実した3日間でした。農家の方々も大変温かく接してくださいましたし、友達との仲もより一層深まったように感じました。このような機会があればまた参加してみたいと思います。私の家は農家ではなく、初めての現場での体験でしたが、このインターンシップを通じて、農業は私たちの生活を支える大切な産業であるということを改めて実感することができ、とてもよかったです。と思います。

(生徒の感想文より)

6 みのもりタイム（総合的な学習の時間）

本校では、総合的な学習の時間を「みのもりタイム」と呼び、ほぼ毎週金曜日の7限に実施しています。また1年生から3年生まで学年ごとに目標が設定されており、それに基づいて本校では、全学年共通及び学年別の学習内容が計画されています。

○全学年共通の内容

社会人講話、農業クラブ校内意見発表会、交通講話、人権講話、
農業クラブプロジェクト発表会、総合学習の総括。

○学年別の主な内容

1年生：オリエンテーション、みのもりガイダンス、コース選択説明会、職場見学事前学習
とまとめ、職場見学（バス見学）、進路ガイダンス、ライフプランの作成。

2年生：修学旅行を活用したテーマ別学習、進路ガイダンス。

3年生：進路ガイダンス

希望進路別学習 { 大学進学希望者群
専門学校進学希望者群
就職希望者群

IV 進路状況

例年、就職希望者と進学希望者の割合は約半々です。1年次よりガイダンスや講習会などを開催し、生徒の自己実現を第一に、希望の進路実現にむけ指導の充実をはかっています。近年、大学等へ進学する生徒が増えつつあり、進学を希望する生徒への補習体制の拡充も行っています。

1 進路状況全般（過去3カ年）

進路先		平成26年度			平成25年度			平成24年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
進学	大学	10	4	14	11	3	14	14	3	17
	短期大学	2	3	5	1	3	4	1	6	6
	農業大学校	6	0	6	4	1	5	10	5	15
	専修・各種学校	24	42	66	30	54	84	44	38	82
	テクノスクール	13	1	14	6	5	11	7	2	9
	無認可校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就職	県内	54	39	93	51	36	87	45	43	88
	学校紹介	1	1	2	0	0	0	0	0	0
	縁故・家業	1	2	3	4	1	5	1	0	1
	公務員	4	1	5	4	0	4	0	0	0
	家事・その他	2	10	12	0	5	5	1	2	3
卒業生数		117	103	220	111	108	219	123	99	221

2 大学進学者数（過去3カ年）

○大学合格状況

学 校 名	H26	H25	H24	学 校 名	H26	H25	H24
新潟大学	0	1	0	拓殖大学	3	0	1
秋田県立大学	0	0	1	東京農業大学	1	2	1
新潟工科大学	1	0	0	日本大学	0	4	0
新潟経営大学	1	0	4	足利工業大学	0	0	0
敬和学園大学	0	1	1	奈良大学	1	0	0
新潟薬科大学	2	2	2	南九州大学	1	0	0
長岡造形大学	0	0	3	京都精華大学	0	1	0
長岡大学	0	1	1	埼玉工業大学	0	1	0
新潟医療福祉大学	0	1	0	国士舘大学	1	0	0
新潟国際情報大学	1	0	0	明海大学	1	0	0
長野大学	0	0	1	いわき明星大学	1	0	0
仙台大学	0	0	1	北里大学	1	0	0
				桐生大学	1	0	0

○短期大学合格状況

学 校 名	H26	H25	H24
新潟中央短期大学	3	1	2
新潟工業短期大学	0	0	0
東京農業大学 短期大学部	0	1	0
新潟青陵大学 短期大学部	1	1	3
明倫短期大学	0	1	0
岐阜女子短期大学	0	0	1
新潟情報専門学校 北海道大学	1	0	0

3 職種別就職者数（学校紹介の県内、過去4カ年）

※平成24年度より職業の分類方法が変わりました。

職 種	平成23年度		
	男	女	計
専門的、技術的、管理的、事務的職業	5	6	11
販 売	2	6	8
サービス	6	7	13
窯業・土石製品・金属材料・化学製品の製造	7	0	7
金属製品・機械の製造	17	9	26
飲料・食料品、繊維製品、その他の製造	10	7	17
建設、定置機関運転・建設機械運転、電気作業	1	0	1
採掘、労務	2	3	5
その他	2	0	2
合 計	52	38	90

職 種	平成26年度			平成25年度			平成24年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
専門的、技術的	6	2	8	4	2	6	2	3	5
事務的	2	1	3	0	1	1	0	3	3
販 売	2	2	4	2	1	3	3	4	7
サービス	1	9	10	6	5	11	1	8	9
保安	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農林漁業	0	2	2	1	2	3	0	0	0
生産工程	42	2	44	32	24	56	33	21	54
運送・機械運転	0	0	0	1	0	1	0	1	1
建設・採掘	1	0	1	3	0	3	4	0	4
運搬・清掃・梱包	1	3	4	2	1	3	2	3	5
合 計	55	21	76	51	36	87	45	43	88

V 在校生からのメッセージ

◎ 私は、本校で農業を中心に、最近問題になっている様々な環境問題を学んでいます。野外での実習では、木の手入れなどの専門的な事を学習しています。「環境」という言葉を実感し、ふれ合うことができ、毎日楽しく充実した日々を過ごしています。基本的なことから専門なことまで幅広く学ぶことができるので、日々新しい気持ちを持って学習することができます

(緑地工学コース 2年生)

◎ 私は現在動物コースで学習しています。動物コースは、川船農場へ行き、牛・豚・鶏の一般管理を中心に実習を行っています。牛・豚の餌やりをし、鶏の産んだ卵を集めパック詰めをして、校内や商店街へ販売をしに出かけます。なにより一番楽し事は、牛・豚にブラッシングをして触れ合えることです。好きな動物と触れ合いながら学ぶことでとても楽しいコースです。

(動物コース 2年生)

◎ 私は現在草花コースで学習しています。草花コースでは、花の種まきや花壇作りなど様々な実習を日々行っています。また、学校内の実習だけではなく、自分たちで種をまき育ててきた花を台車に乗せて販売に行くこともあります。販売実習では地域の人たちと交流を深めることができます。そして友達と一緒に完売した時の喜びも味わう事ができ、とても楽しいです。自分たちで育ててきた花が綺麗に咲いた時は幸せな気持ちになります。草花コース、いいですよ。

(草花コース 2年生)



VI 学校納付金

学校納付金については、次のものがあります。

<参考> 平成27年度 第1学年 (平成28年度は金額、回数が変更になる場合があります。)

費目	年間納入額	4月の納入額	納入回数
(1) 入学料	5,650円	(4月 5,650円)	4月のみ
(2) 授業料(全日制)	118,800円	(4月 9,382円)	12回
※平成26年度入学生から、所得制限により就学支援金が支給されない世帯(市町村民税所得割額の保護者(親権者)の合算が304,200円以上の世帯)については、上記の授業料を納めていただきます。 なお、就学支援金の支給の手続き等については、別途お知らせいたします。			
(3) 生徒会費	6,200円	(4月分 1,700円)	7月まで4回で納入
(4) センター掛金等	2,470円	(4月分 2,470円)	4月のみ
(5) PTA会費	4,000円	(4月分 1,000円)	7月まで4回で納入
(6) クラブ活動助成金	2,000円	(4月分 1,000円)	4月、5月の2回
(7) 修学旅行積立	72,000円		5月から月8,000円で9回

※注 「センター掛金等」は、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度掛金(1,520円)、県高等学校体育連盟分担金(600円)、県高等学校文化連盟分担金(350円)をいいます。

この他に、入学時に下記の費用が必要となります。

- ① 制服 男子(希望者のみ) 上着、ズボン、長袖Yシャツ、半袖Yシャツで 33,600円
女子一式(上着・冬スカート・リボン) 24,700円
(希望者のみ) 長袖ブラウス 3,000円 半袖ブラウス 2,900円 夏スカート 8,500円
スラックス 11,000円 ベスト 4,400円

- ② 学年諸経費

実習服、体操着、運動靴、副教材、実習費その他費用(3年間分100,000円)が入学時必要となります。